

今は遠き… 忘れがたき江戸前海苔の生産技術

とうきょうわん せいさんようぐ
東京湾のり生産用具



千葉県内では、江戸で海苔商を営む商人の近江屋甚兵衛によって江戸時代後
期の文政4年（1821）に、現在の君津市人見で海苔の養殖が始められました。

現在、市内では金田地区などで海苔の生産が盛んに行われ、木更津市の名産
品となっています。指定された用具は、海苔を生産する準備段階から製品にす
るまでの工程を示すもので、戦後の生産技術の変遷を伝える資料です。

県指定文化財：民俗文化財（有形民俗文化財）

指定年月日：昭和54年3月2日

所在地：木更津市太田2-16-2（木更津市郷土博物館金のすず）

所有者：木更津市

員数：一括

公開・非公開の別：公開
